

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	成人看護援助論Ⅰ(呼吸器)	対象学生	第2学年
		単位数(時間)	1単位(30H)	学期	第1学期
担当講師	看護師 横山 里佳子(臨床経験13年、教育経験11年)				
科目目標	1. 生命の危機的状況に陥りやすい呼吸器疾患患者の看護を理解する。 2. 対象の看護に必要な技術を習得する。				
授業概要	1. 呼吸機能障害のある患者の看護 1) 原因と障害の程度のアセスメントと看護:6H 担当:看護師 第1回 原因と障害の程度のアセスメントと看護 1. 酸素化障害 2. 換気障害 3. 呼吸運動障害 4. 生命・生活への影響 ①喀痰 ②血痰・咯血 ③咳嗽 ④胸痛 ⑤呼吸困難 ⑥チアノーゼ ⑦ばち指 ⑧発熱 ⑨呼吸の異常 ⑩声の異常 ⑪いびき ⑫意識障害 第2回 5. 看護の実際(演習) ①呼吸機能障害を持つ患者のフィジカルアセスメント 第3回 5. 看護の実際(演習) ②呼吸理学療法の実際 (口すぼめ呼吸・腹式呼吸・呼吸筋強化・体位ドレナージ・ハフティング・スクイーミング・ タッピング) 2) 検査・処置を受ける患者の看護:2H 担当:看護師 第1回 検査・処置を受ける患者の看護 (1)血液検査(2)動脈血液ガス分析(3)喀痰検査(4)咽頭ぬぐい液・鼻腔ぬぐい液検査 (5)胸腔穿刺(胸水検査)(6)画像診断(7)気管支鏡検査(8)肺生検 (9)呼吸機能検査 3) 主な治療を受ける患者の看護:11H 第1回～第3回担当 :看護師 (6H) 第4回～第6回担当 :横山 里佳子 (5H) 第1回 主な治療を受ける患者の看護 吸入療法を受ける患者の看護、酸素療法を受ける患者の看護 第2回 主な治療を受ける患者の看護 人工呼吸器を装着する患者の看護(侵襲的陽圧換気、非侵襲的陽圧換気) 第3回 人工呼吸療法の管理と実際(演習) 第4回 手術を受ける患者の看護(開胸術・肺切除術・胸腔鏡手術) 第5回 胸腔ドレナージを受ける患者の看護、気管切開を受ける患者の看護 胸腔ドレーン、一時的吸引(口腔・鼻腔・気管)、気管カニューレの管理 第6回 気管切開を受ける患者の看護:1H (演習) 一時的吸引(口腔・鼻腔・気管)の実際、気管カニューレの管理 4) 病期や機能障害に応じた看護:10H 1、2、3、4、6 担当 :看護師 (4H) 第1回～第5回 5、7、8、9 担当 :看護師 (6H) 1. 肺炎患者の看護(気管支炎・胸膜炎も含む) 2. 結核患者の看護(DOT療法) 3. 気管支喘息患者の看護 4. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の看護 5. 肺血栓症患者の看護 6. 急性呼吸促迫症候群患者の看護 7. 睡眠時無呼吸症候群患者の看護 8. 肺癌患者の看護(中皮腫も含む) 9. 自然気胸患者の看護 2. 終了試験:1H				
看護師国家試験出題基準	原因と障害の程度のアセスメントと看護 酸素化障害、換気障害、呼吸運動障害、生命・生活への影響、呼吸のアセスメント、呼吸音聴取、体位 ドレナージ、排痰法の適応と方法、呼吸を楽にする姿勢と呼吸法				

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	成人看護援助論Ⅰ(呼吸器)	対象学生	第2学年
		単位数(時間)	1単位(30H)	学期	第1学期
担当講師	看護師 横山 里佳子(臨床経験13年、教育経験11年)				
<p>検査・処置を受ける患者への看護 動脈血液ガス分析、呼吸機能検査、気管支鏡検査、胸腔穿刺、肺生検</p> <p>主な治療を受ける患者への看護 酸素療法、非侵襲的陽圧換気、侵襲的陽圧換気、肺切除術、胸腔ドレナージ、吸入による薬物療法、薬物療法、手術療法の理解を促す援助、手術の意思決定への支援、術後合併症のリスクアセスメントと援助、術前オリエンテーション、不安のアセスメントと援助、開腹・鏡視(内視鏡)下手術方法による影響と援助、手術体位による影響と援助、麻酔による影響と援助、生体反応、術後の疼痛管理、創傷管理、ドレーン管理、術後出血、下肢静脈血栓症、肺塞栓症、呼吸器合併症、感染症、廃用症候群、機能訓練、人工呼吸、口腔内・鼻腔内吸引、気管内吸引、口腔内・鼻腔内・気管内吸引の適応と方法、病気や機能障害に応じた看護腫瘍(肺癌、中皮腫)、炎症性疾患(肺炎、気管支炎、胸膜炎)、慢性閉塞性、肺疾患(COPD)、気管支喘息</p>					
授業の進め方					
臨床で遭遇する頻度が高く基本的知識として必要な内容を選択して教授する。 実施する機会の多い看護については、演習を行い技術の習得を図る。					
履修のポイント、留意事項					
形態と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、基礎看護援助論、成人看護学概論などの学習を想起する。					
テキスト					
系統看護学講座 成人看護学〔2〕呼吸器 医学書院 系統看護学講座 臨床外科総論 医学書院 系統看護学講座 臨床外科看護各論 医学書院 フィジカルアセスメントガイドブック 医学書院					
評価方法					
課題レポート、授業態度(演習参加度等)、科目終了試験を総合して行う。					